

事業名	和田はたおり保存会						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	令和3年4月～令和4年3月	講師	-	参加費	・会費 ・市予算 (報償費、消耗品費、物品修繕費)		
対象者	保存会会員	参加者数 (延べ)	12名	募集方法	必要な場合は会員募集をかける		
趣旨	地域との交流を図りながら、和田地区に伝わる機織りを伝承・保存・活用し、地域の発展と文化の向上に寄与する。						
内容	①毎週金曜日の機織り作業：作品の機織り作業 ②市内小学生等見学対応：市内小学生の和田ふるさと館歴史民俗資料室見学時の機織り体験対応 ③和田文化工芸展出品：11～12月展示実施 ④各種協力依頼対応等：中央公民館主催藍染め事業への協力						
工夫	①毎週金曜日の機織り作業：時間を午前限定して実施 ②市内小学生等見学対応：機織りの説明を実施(体験ではなく) ③和田文化工芸展出品：通常活動場を展示スペースとして実施 ④各種協力依頼対応等：早い段階から協議を実施						
成果	①毎週金曜日の機織り作業：円滑に活動が出来た。 ②市内小学生等見学対応：非接触型対応により安心安全を図れた。 ③和田文化工芸展出品：より良い展示を実施出来た。 ④各種協力依頼対応等：円滑に事業を推進出来ている。						
課題	①毎週金曜日の機織り作業：作業時間の不足 ②市内小学生等見学対応：機織り体験機会の提供不足 ③和田文化工芸展出品：展示作品の減少 ④全体を通して：まだまだコロナ禍は続くため、継続していけるよう支援していく必要がある。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館が行う必要があるか。</li> <li>市民や利用者のニーズに合っているか。</li> <li>目的や役割が薄れていないか。</li> <li>事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。</li> </ul>
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の優先度は高いか。</li> </ul>
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に情報は流れているか。</li> <li>受益者負担はあるか(実費・教材費)</li> </ul>
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>期待通りの成果が得られているか。</li> <li>さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。</li> <li>市民の満足度は高いか。</li> </ul>
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性はどうか。</li> <li>事業運営に学習者が参画しているか。</li> <li>他事業との統合は考えられるか。</li> </ul>
総合評価	A	<p>A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。</p>
特記	令和2、3年度は主たる事業がスムーズに実施出来ていないが、団体支援の重要性は高く、今後も引き続き継続していく必要がある。	

《凡例》 ① A ← B C D ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

《判定例》

A } A	A } A	A } A	A } A	A } A	A } A
A } B	A } B	A } B	A } B	A } B	A } B
A } A	A } A	A } A	A } A	A } A	A } A

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

## ☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		(特になし)
総合評価	A	
委員②		公民館による事業評価で有効性がB評価となっていますが、人口減少や世代交代、ニーズの変化などの課題があるため、そのように評価されたのかと推察します。公民館は地域の社会教育の中心的存在ですので、それぞれの団体と協議していただきながら、どのように運営していけば今後発展していけるかを検討し、団体への支援の継続を望みます。
総合評価	A	
委員③		地域伝承の工芸について、公的機関を会場に広める機会を設けたことは、大いに価値がある事業だと考えます。 数回ではなく、年間を通して行ったことで、一朝一夕では継承できない技能の保存が可能になると考えます。継続的に計画し、ぜひ地域工芸を後世に残してほしいと思いました。 次年度展望 ①
総合評価	A	
委員④		はたおりの作品を観る機会がありました。 コロナ禍の活動に苦労もあるかと存じます。 継続的な支援を望みます。
総合評価	A	
委員⑤		団体が同じ目的を持ち活動を広げていくために公民館がその調整・旗振り役をすることで地域内がまとまりを持つ良い事業だと思う。
総合評価	A	
委員⑥		和田地区に伝わる機織りを伝承・保存・活用し和田地区の発展と伝統文化の向上・普及を是非とも図って頂きたいです。 後継者の育成につなげる為に、「和田はたおり保存会」を知って頂くPR活動を積極的に行ったらどうでしょうか？
総合評価	A	
委員⑦		コロナ禍で制約が多い中、地味ながら展示会を開催できたのは保存会会員の熱意の賜物と思います。歴史的にも和田公民館と機織りの関係は、この地区のかつての暮らしを色濃く反映しています。現代社会での需要はさて置き、CO <sub>2</sub> を排出する業界において石油産業に次いで多いのが化学繊維を主とするアパレル業界であることを考えると素朴な「はたおり」から学ぶ点も多いと感じます。
総合評価	A	
委員⑧		和田はたおり保存会事業は、長い歴史がありメイン事業と思います。和田地区に伝わる機織り機等を活用して、来館者に対する動態展示や体験講座を実施している。益々伝統文化の普及を図り地域の発展と文化の向上に寄与することに期待します。
総合評価	A	

委員⑨		和田ふるさと館における「和田はたおり保存会」の活動は、長年続いており、引き続きバックアップを続けられたい。
総合評価	A	

委員⑩		人口減少や住民の高齢化のため、後継者不足・若年層不足などにより、伝統工芸を継承するグループが減少しつつある中、機織り体験を毎週開催されていることは素晴らしい。機織り機は市内では「和田ふるさと館」にしか無く、伝統工芸の機織り体験をできる唯一の場所です。さらに市内全域の小中学校に機織り体験の情報発信を行い、体験の参加者を募って下さい。地域の活性化・地域づくりの推進・伝統工芸の継続は公民館との共同や協力など支援が必要だと思います。
総合評価	A	

委員⑪		新型コロナ禍での工夫された事業が行なわれていることに評価します。事業の継続性を考えて行く必要が大切かと思います。事業内容が非日常的なことであり、いかにして、日常の中で趣味的に継続できる工夫が必要と感じます。どのように日常の中で継続できるのかの、アフターケアが大切でしょうか。
総合評価	A	

委員⑫		古くから伝えられる機織りの魅力を守っておられる保存会の方々は大いへんご苦労されているとともに、その魅力は十分にご存じの方々だと思います。ただ、その魅力は作品を観たり、機織り作業を観るだけでは、なかなか伝わりずらいと思えます。特に若い世代に興味を持ち参加してもらうためには、作品の内容も含め視点を今に置いてみることも必要ではないでしょうか。
総合評価	A	

委員⑬		『和田口伝の機織り』団体育成だけでなくまた、地域だけでなく佐倉市全体への積極的な案内の必要性を問います。また、伝統文化の学びとして小学生等の対応に工夫があっても良いと思えます。たとえば、ミニ織機での体験などです。
総合評価	B	

委員⑭		地区に伝わる機織りの技術を後世に伝えていくには、後継者の養成が大切だと考えます。和田はたおり保存会後継者育成の仕組みを考えていくときになっているのではないのでしょうか。
総合評価	A	

委員⑮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業として団体育成を行う必要性を取り上げた所以となる、和田地区の地域性を抜きにしては、評価も難しいと思えます。これまで和田公民館を会場に行われてきた事業を振り返りつつ、今、団体育成はいかにあるべきかを考えさせられました。</li> <li>・公民館事業なら、計画主体は公民館でも活動主体は市民。そのつなぎに位置する団体が活動の継続や向上を図るうえで大切なのでしょうが、とても難しいと思えます。和田地区ならではの独自性を感じます。</li> </ul>
総合評価	B	